

平成29年度 目黒区・中浪区友好交流訪問団

大韓民国ソウル特別市中浪区訪問報告書

(平成29年12月18日～20日)



平成30年3月

目黒区文化・スポーツ部文化・交流課（訪問事務局）

【目 次】

はじめに	1
1 目的	2
2 日程	2
3 訪問団の構成	2
4 訪問概要	3
5 まとめ	12
おわりに	13

はじめに

大韓民国ソウル特別市中浪区（以下「中浪区」という。）とは、平成22年6月に在日本大韓民国大使館（以下「韓国大使館」という。）から中浪区との交流の打診を経て、北京市東城区から中浪区との交流について検討要望があり（なお、東城区は中浪区と友好都市の関係にある。）、中浪区からも交流意向が示された後、相互に訪問の機会を持つてきました。

平成25年4月18日には中浪区から当時の文区庁長が、より具体的で発展的な友好交流の推進のために中浪区議会議員と共に来訪され、その際、多様な文化的背景を持つ人々の相互理解を深め、多様な価値観や異文化を理解し尊重しながら自治体レベルの交流として進めていくことを確認し、同年10月28日には、「目黒区・中浪区友好増進及び友好協力覚書（以下「覚書」という。）」を締結しました。

また、翌年の正月には両区の小学生による年賀状交換も始まり、平成26年4月には区長を団長とする目黒区・中浪区友好親善訪問団が中浪区を訪問、同年10月には目黒区・中浪区スポーツ交流団を中浪区に派遣し、バレーボール交流試合を行うなど交流を続けてきました。

区は、友好関係にある東城区と中浪区との交流推進に向けて、文化・芸術、教育、スポーツなどの分野で様々な交流の発展を目指していくため、平成27年7月に東城区長及び人民代表大会常務委員会主任から招聘を受け、区長、議長をはじめとした目黒区代表団が東城区を訪問しました。その際、目黒区長から当時の張家明（ジャン・ジャミン）東城区長に対して、中浪区も含めた三区間での青少年同士の交流ができないか提案を行い、東城区長から前向きな回答を得たことから、平成28年7月に東城区において、中浪区を含めた三区の実務者協議を行いました。

この実務者協議を経て、三区の子どもたちによるスポーツ交流事業の実施と、三区の継続した友好交流を推進していくため、平成29年7月「三区間スポーツ交流団」を編成し、7月25日から29日にかけて東城区を訪れ、目黒区として初めてとなる三区の中学生によるスポーツ交流事業を実施しました。三区の中学校2年生男子12名によるバスケットボール大会のほか、東城区内の中学校訪問や伝統文化施設の見学を通じて次代を担う子どもたちの交流の推進を図ったところです。また、今後2年間は同じ競技での交流を継続していくことが三区で確認されました。

こうした経過を踏まえて、今回中浪区からの招聘に基づき、今後の両区間の友好交流増進についての意見交換及び平成30年度に実施予定の「三区間スポーツ交流事業」に関する協議等を行うため、「目黒区・中浪区友好交流訪問団」（以下「訪問団」という。）を編成し、平成29年12月18日から20日にかけて中浪区を訪問しました。

本報告書は、この訪問結果をとりまとめたものです。

1 目的

中浪区からの招聘に基づき、今後の両区間の友好交流増進についての意見交換及び平成30年度に実施予定の「三区間スポーツ交流事業」に関する協議等

2 日程

平成29年12月18日（月）から12月20日（水）まで（2泊3日）

月 日	時間帯	内 容
12月18日（月）	午前 午後	・羽田空港から出国（KE-2712便 9時45分発） ・金浦空港到着（12時15分着） ・在韓国日本大使館訪問 ・日中韓三国協力事務局訪問 ・中浪区庁長表敬訪問・歓談会 ・龍馬瀧公園視察 ・歓迎晩餐会（中浪区庁長主催）
12月19日（火）	午前 午後	・中浪区地区事務所及び中浪区育児総合支援センター視察 ・ヘッサルアレ・ポドゥミナヌミ保育園視察 ・午餐（中浪区副区庁長主催） ・ソウル特別市内視察
12月20日（水）	午前 午後	・中浪区立新内高齢者福祉館視察 ・甕器（おんぎ）テーマ公園視察 ・歓送午餐会（中浪区庁長主催） ・金浦空港から出国（KE-2709便 16時20分発） ・羽田空港着（18時30分着）

<参考> 経費

旅費、宿泊費、現地車両費、通訳士経費、記念品等 898,856円

3 訪問団の構成

【団 長】青木 英二 目黒区長

【副団長】尾崎 富雄 教育長

【団 員】上田 広美 文化・スポーツ部長

勝島 壮介 秘書課長

濱下 正樹 文化・交流課長

4 訪問概要

(1) 在韓国日本大使館

- ① 日 時 平成29年12月18日（月）午後2時15分から2時45分
- ② 場 所 在韓国日本大使館
- ③ 対応者 水嶋光一臨時代理大使他

ソウル特別市に到着して最初の訪問地は在韓国日本大使館でした。初めに、目黒



区長からこれまでの目黒区と中浪区との交流経過や、昨年7月に北京市東城区で実施した三区間スポーツ交流事業について説明した後、「自治体や住民レベルの『草の根交流』が大切。区としては中浪区との交流について、今後も積極的に取り組んでいくので、ぜひ日本大使館のご支援をいただきたい。」と挨拶がありました。

水嶋臨時代理大使は、「国同士の問題は様々あるが、自治体間で若者同士の交流を拡充していくことが大切だということは各国一致していると認識している。在韓国日本大使館としても応援していきたいと考えている。子どもたち、特に小・中学生は言葉が通じなくても直ぐに仲良くなれる。長い目で見ていくことで効果もあり、ぜひ協力していきたい。」と話され、その後、近年の日韓情勢や若い世代の交流などについて意見交換を行いました。



(2) 日中韓三国協力事務局

- ① 日 時 平成29年12月18日（月）午後3時10分から3時30分
- ② 場 所 日中韓三国協力事務局
- ③ 対応者 山本恭司事務局次長

昨年7月、北京市東城区訪問時に在中国日本大使館で対応いただいた山本恭司元公使が、昨年9月に本事務局次長として赴任されたことから訪問することとなりました。

はじめに、山本事務局次長から日中韓三国協力事務局の説明があり、「この事務局は、日中韓三国の平和、安定及び繁栄を促進する



ために、2011年9月に設立された国際機関です。三国の協力に関する様々な人々・情報・資源が集結するハブを目指し、様々な協議の推進や三国協力事業を促進することを通じて、未来志向を基盤とした三国間の協力関係の更なる促進に寄与することを目的に様々な活動に取り組んでいます。」と話がありました。

目黒区長からは、昨年7月に在中国日本大使館でお世話になったことへの謝辞の後、「目黒区、北京市東城区、ソウル特別市中浪区との三区の中学生によるスポーツ交流事業は、それぞれの国の事情は異なるが、次代を担う子どもたちのために、今後も身の丈にあった交流を継続していきたいと考えているので、ぜひ事務局にも支援をいただきたい。」と話されました。

山本事務局次長は、「目黒区の取組は、まさにこの事務局が設置された目的の様々な交流を自治体レベルで行われていることであり感銘している。目黒区や様々な機関と情報共有や連携を図りながら、可能な範囲で協力していきたい。」と話されていました。

(3) 中浪区庁長表敬訪問・歓談会

- ① 日 時 平成29年12月18日(月) 午後4時00分から5時45分
- ② 場 所 中浪区庁舎歓談室及び企画状況室
- ③ 対応者 羅 鎮求(ナ・ジング) 区庁長、行政局長、経済財政局長、生活福祉局長、都市環境局長、建設交通局長、保健所長、総務課長、他
- ④ 懇談内容

前日までの積雪が残りかなり冷え込む中、中浪区庁舎に到着しました。庁舎入口前では、大勢の中浪区庁職員が大きな拍手で出迎えてくれるなど、熱烈歓迎を受けることとなりました。



はじめに、歓談室で羅 鎮求区庁長から「とても寒い中訪問いただき感謝申し上げますとともに、2016年11月以来の目黒区長との再会を大変うれしく思う。2泊3日と限られた時間ではあるが、中浪区の施設等を見ていただき、今後の友好交流につながる意見交換をしたい。」と挨拶がありました。



目黒区長からは「再会を心から感激している。区も待機児童対策などの課題に取り組んでいるが、中浪区での取組を視察させていただき、区政運営の参考にさせていただきたい。」と伝え

ました。

引き続き、企画状況室に場所を移すと、そこには大勢の中浪区庁職員が待機しており、大きな拍手で迎えられながら、中浪区と目黒区との懇談・意見交換会



が始まりました。双方の区の参加者紹介後、はじめに羅 鎮求中浪区庁長は、「韓国では雪が降ると良いことが起こるといふ言い伝えがあるが、雪が積もっている今日、目黒区から素晴らしい訪問があった。私が2016年11月に目黒区へ訪問した際、三区間スポーツ交流事業実施への青木区長の熱い思いを感じた。今回、第1回目のスポーツ交流が実現し、素晴らしい成果を挙げた。大都市同士の交流も大事であるが、改めて区間交流の大切さを実感した。これを機にもっと活性化させていきたい。また、これまでの交流をより一層発展させる点から、例えば、人的な交流を通じて、双方のより良い施策を学び合う機会を作ること、効果的な取組になると考えている。青木区長が3年前に訪問した時から大きく変わった中浪区を見ていただき、様々な意見を頂戴できることを期待している。この1年の友好交流や相互訪問により、これまでの10年の変化を超える変化があると確信している。」と述べました。

これに対し目黒区長は、「金浦空港を降りた時は非常に寒く感じたが、庁舎に着くとレッドカーペットが敷かれ、大勢の職員による暖かい出迎えをいただいたことに感激している。羅 鎮求中浪区庁長は私より3歳年上で素敵な兄と思っており、再会できて心から嬉しく思っている。2013年に覚書を締結後も、翌年にはバレーボールによるスポーツ交流を中浪区で実施するなど交流を深めてきた。また、私が2016年に東城区を訪問した際、当時の張 家明



(ジャン・ジャミン) 東城区長に中浪区も含めた三区による青少年の交流ができないか提案し実現した三区間スポーツ交流事業は、文化・歴史の壁を乗り越えて、子どもたちの素晴らしい交流ができたことを認識している。今回の訪問の目的の一つ

に、次年度の三区間スポーツ交流事業の開催区を含めた実施詳細を協議するということがある。チャンスがあれば目黒区での開催を希望しているが、引き続き両区と協議をしていきたい。また、覚書を更に発展させていきたいとも考えているため、今回様々な意見交換ができればと思っている。いずれにしても、自治体や住民レベルでの多様な草の根交流を行っていくことが大切だと考えているので、中浪区にも協力をお願いしたい。今後の交流は、中浪区のシンボルが『梨』である

ことから、梨の実りのように交流を实らせていきたい。」と挨拶がありました。

改めて、羅 鎮求中浪区庁長から、次年度の三区間スポーツ交流事業の開催について、「次回は目黒区での実施を希望する。その方向で進めていきたい。」と発言があり、今後の交流推進については、時代の流れや自治体の規模に合わせた交流内容としていくことが

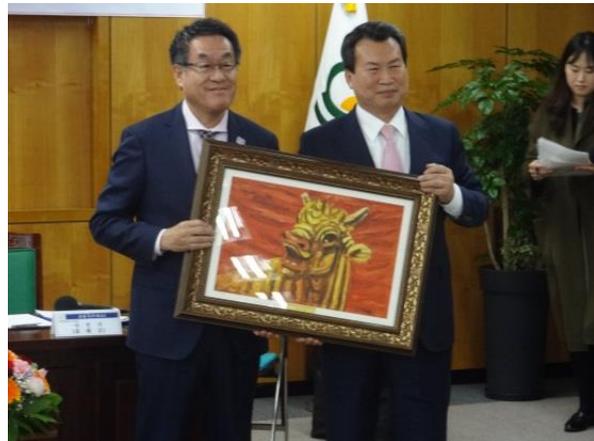
望ましいことや、双方の議会と十分協議のうえ進めていく必要があることなどを確認しました。

その後、中浪区の幹部職員から、目黒区の教育分野について、教育委員会制度や子どもの肥満についての質問があり、尾崎教育長は「日本では平成28年度から、首長との連携強化や教育長の責任がより明確化されるなど、教育委員会制度改正が行われた。目黒区の児童・生徒の肥満率は高くなく、栄養士の全校配置などにより食育を推進しながら健康教育の取組を進めている。」と答えました。

また、中浪区は5月に大きなイベントとしてバラ祭りがあるが、目黒区ではどのようなイベントがあるのかという質問に対し、

上田文化・スポーツ部長は、「毎年9月に実施している区民まつりの中で、2011年に発生した東日本大震災で被災した目黒区の友好都市である宮城県気仙沼市で水揚げされたサンマを来訪された方にふるまっている。震災直後は中浪区からは気仙沼市に対して義援金をいただいた。また、春の目黒川の桜は全国的

に有名で、外国からの来訪者も含め多くの花見客が来る。さらに、2016年からは区内の公道を使用したマラソン大会を実施しており、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成にも努めている。目黒川の桜やマラソン大会に中浪区の皆さんもぜひお越しいただきたい。」と歓迎の



意を伝えました。

最後に記念品の交換、記念撮影を行い、1時間あまりの懇談・意見交換は終了しました。

(4) 龍馬瀧公園視察

- ① 日 時 平成29年12月18日(月) 午後6時00分から6時25分
- ② 場 所 龍馬瀧公園(中浪区スポーツクライミング競技場を含む)
- ③ 対応者 中浪区職員

龍馬瀧公園は、採石場跡地の形状を活かし、総工事費約3億7千万円をかけて3つの人口滝を造成した公園で市民の憩いの場となっています。3つの滝のうち、最大の龍馬瀑布は落差51.4mの高さがあり、その規模は東洋最大規模で、周辺には人工芝の公式サッカー場なども整備されていました。また、視察時間が夜になったこともあり、滝がライトアップされ、プロジェクションマッピングで滝に目黒区歓迎のメッセージなどが投影されました。



さらに、一昨年、公園内にソウル市内で唯一の国際公認規格で、夜間照明やシャワー室なども整備されたスポーツクライミング競技場を造成し、年間約1万2千人余の区民や愛好家に利用され、近隣で運動できる空間の提供やスポーツ種目の多様化に寄与しているとのことでした。



(5) 歓迎晩餐会(中浪区庁長主催)

- ① 日 時 平成29年12月18日(月) 午後7時00分から8時30分
- ② 場 所 インターコンチネンタル ソウル COEX
- ③ 対応者 羅 鎮求(ナ・ジング) 区庁長、行政局長、経済財政局長、生活福祉局長、都市環境局長、建設交通局長、保健所長、総務課長

会食をしながら、今後の交流促進についての話や、お互いの区の状況など、終始和やかに懇談が行われました。



(6) 中浪区地区事務所及び中浪区育児総合支援センター視察

- ① 日 時 平成29年12月19日(火) 午前10時00分から10時40分
- ② 場 所 中浪区地区事務所及び中浪区育児総合支援センター
- ③ 対応者 中浪区地区事務所長及びセンター長



2011年に開設された支援センターは、家庭療育支援及び保育園事業を中心に運営されています。家庭療育支援では、親子療育プログラムなどに実施により地域の子育て支援を行っています。また、保育事業では、教員育成や保育心理相談の実施のほか、共同育児ルームの運営では利用者のニーズや興味を踏まえながら様々なメニューを展開しているとのことでした。

地区事務所では、マイナンバーの利用状況の説明を受けました。また、同事務所内には、近隣住民による低価格での飲み物を提供するカフェが設置されていました。

(7) ヘッサルアレ・ポドゥミナヌミ保育園視察

- ① 日 時 平成29年12月19日(火) 午前11時05分から12時10分
- ② 場 所 ヘッサルアレ・ポドゥミナヌミ保育園
- ③ 対応者 園長

中浪区では、保育園5か年計画により保育園整備を進めており、中浪区でも保育園が少ないこのエリアに本園は整備されました。建設整備に当たっては、中浪区のほか、国やソウル特別市に加え、民間企業も出資しているとのことでした。

園内では、97人の園児が生活し、給食も施設内で調理できる環境のほか、一時保育施設や地域保育ルームも整備されていました。



(8) 午餐（中浪区副区庁長主催）

- ① 日 時 平成29年12月19日（火）午後0時40分から2時30分
- ② 場 所 グランド・ウォーカーヒル・ソウル「金瀧」
- ③ 対応者 李 海雨（イ・ヘウ）副区庁長、他

はじめに、目黒区長から、「李 海雨副区庁長とは、昨年の三区間スポーツ交流事業でお会いしたが、再会できたことを光栄に思う。昨日、羅 鎮求区庁長から次年度の三区間スポーツ交流事業の開催区は目黒区でと、私の希望に対して前向きな発言をいただいた。これから両議会に説明していきながら実施していきたい。」と挨拶しました。

李 海雨副区庁長からは、「年が明けたら日本を訪問する予定のため、その際目黒区を訪問したい。時期は3月になると思う。次年度の三区間スポーツ交流事業の開催区は、羅 鎮求区庁長と同じ考えであるが、東城区で実施した状況を踏まえ、子どもたち同士の交流がより一層推進できるよう、食事の際に大人と子どもの場所を分けるなど、お互いが気持ちよくいられるよう工夫してはどうか。」と実施内容についての意見もいただきました。

その後も、会食をしながら、終始和やかに懇談が行われました。



(9) ソウル特別市内視察

- ① 日 時 平成29年12月19日（火）午後4時40分から5時30分
- ② 場 所 青瓦台（チョンワデ）、青瓦台サランチュエ

青瓦台は、韓国大統領の執務室兼官邸であり、一般の観光客も含め建物の入口付近までは行くことができました。サランチュエは、青瓦台から程近い場所にあり、韓国歴代大統領の歴史と韓国の伝統文化が理解できる総合広報館で、ソウルの王宮や済州の溶岩洞窟など韓国の世界遺産の紹介や、文化・観光関連の資料の展示のほか、青瓦台館ではIT機器を使用した写真撮影ができるブースなども備えてありました。



(10) 中浪区立新内高齢者福祉館視察

- ① 日 時 平成29年12月20日（水）午前10時00分から10時55分
- ② 場 所 中浪区高齢者総合福祉館
- ③ 対応者 館長

この施設は2008年に開館し、運営を社会福祉法人が担っており、1階にはデイケアセンターや物理治療室、2階に相談室やセミナー室、3階に活動室などを備

え、屋上にはゲートボールができる設備が整っていました。

当館は、社会参加を通じた住民の暮らしの向上を目指し、高齢者に総合的なサービスを提供する施設で、主に60歳以上の中浪区の高齢者を中心に利用しており、1万人以上の住民が登録し、毎日千人以上が利用しているとのことでした。

主な活動は、デイケアセンターの運営をはじめ、保健医療、機能回復プログラムのほか、芸術文化活動を通じた高齢者の生きがい作りや体力増進プログラムの実施、老後生活支援などであり、高齢者が充実して過ごすことができる施設であることを確認することができました。



(11) 甕器（おんぎ）テーマ公園視察

- ① 日 時 平成29年12月20日（水）午前11時00分から11時25分
- ② 場 所 甕器（おんぎ）テーマ公園
- ③ 対応者 中浪区職員

2014年まで建設用火薬類の販売・貯蔵施設として使用していた土地を、再開発により、韓国でキムチを漬ける時などに使用する伝統の壺「甕器（おんぎ）」をテーマに、甕器窯の展示や陶芸体験や木工体験などの体験や野外活動ができるスペースが整備されている公園でした。公園頂上には展望台やブックカフェも整備され、ブックカフェも含め高齢者の方による運営となっており、住民の憩いの場所になっていました。



(12) 歓送午餐会（中浪区庁長主催）

- ① 日 時 平成29年12月20日（水）午後0時10分から14時00分
- ② 場 所 三清閣（サムチョンガク）幽霞亭（ユハジョン）
- ③ 対応者 羅 鎮求（ナ・ジング）区庁長、行政局長、経済財政局長、生活福祉

局長、都市環境局長、建設交通局長、保健所長、総務課長

三清閣は、1972年に建設され、過去には南北首脳会談にも使用されたこともあるなど、韓国国内でも歴史と伝統ある場所で、幽霞亭という離れの建物の中で歓送午餐会は行われました。

はじめに、羅 鎮求区庁長から、「3日間という短い滞在であったが、様々な区の施設を視察していただき、また、有意義な懇談や友好を深めることができたことは、素晴らしい成果であった。今回の訪問目的である次回の三区間スポーツ交流事業の成功と今後の交流推進に向けて、これからも十分協議をしていきたい。この訪問をきっかけとして、両区の間をより一層強くしていきたい。この三清閣の地からいい「気」を受けて帰国されるが、今後の友好交流がより一層推進すること、両区の実現と皆さんの健康を祈念し、また再会できることを心から願っている。」と挨拶がありました。



続いて、目黒区長から、「この3日間、経験したことのない寒さだったが、中浪区の暖かいおもてなしを受けたことに心から感謝する。私から改めて、次年度の三区間スポーツ交流事業は目黒区で、また、将来に向けては友好都市を目指していくという提案に対して、中浪区としても前向きに協議を行っていくという言葉をしていただいたことはとても心強く思っている。私は今回で三度目の訪問となるが、今回様々な施設を視察させていただき、この間の中浪区の実現を確認できたとともに、その努力に敬意を表したい。また、待機児童対策や高齢者対策など、中浪区の実現的な対策に感謝した。しっかりと学ばせていただいたので、帰って区政運営の参考にさせていただく。3日間の滞在は早かったが、次はぜひ羅 鎮求区庁長に目黒区にお越しいただきたい。心からお待ちしている。」と挨拶し、会食しながら和やかな懇談の後、帰国の途に付きました。



とはとても心強く思っている。私は今回で三度目の訪問となるが、今回様々な施設を視察させていただき、この間の中浪区の実現を確認できたとともに、その努力に敬意を表したい。また、待機児童対策や高齢者対策など、中浪区の実現的な対策に感謝した。しっかりと学ばせていただいたので、帰って区政運営の参考にさせていただく。3日間の滞在は早かったが、次はぜひ羅 鎮求区庁長に目黒区にお越しいただきたい。心からお待ちしている。」と挨拶し、会食しながら和やかな懇談の後、帰国の途に付きました。



5 ま と め

次年度の三区間スポーツ交流事業については、中浪区庁長から目黒区での開催を希望する考えが示されたことから、実施場所や時期、競技内容等詳細も含め、今後、東城区も含めた三区で協議を進めていくことが確認できました。

併せて、中浪区から実務担当者が本年3月に目黒区を訪問する意向も示され、また、同時期に東城区も目黒区を訪問する方向で調整を行っていることから、東城区の目黒区訪問が実現すれば、次年度の三区間スポーツ交流事業実施に向けた実務者協議が目黒区の地で行うことができる環境が整うこととなるなど、今回の訪問が次年度の実施に向けて一定の成果を挙げることとなりました。

また、中浪区とは、平成25年10月に覚書を取り交わしていますが、両区がさらに友好交流を進展させていくため、将来の友好都市協定の締結も視野に入れて、今後、両区とも、双方の議会と協議しながら進めていくことについても確認できたことも成果でした。

さらに、中浪区の施設の視察においては、待機児童対策の取組として、民間企業等との連携した保育園の運営や、高齢者対策としての施設の運営に当たっては、多くの高齢者が生きがいを持って生活や趣味を楽しめるような様々な工夫が凝らされており、区政運営における参考となる事例を確認することができました。

おわりに

今回は、昨年7月に実施した目黒区・東城区・中浪区による三区間スポーツ交流事業実施結果を踏まえ、次年度の三区間スポーツ交流事業の開催区に関する協議及び今後の友好交流の発展について協議するため、中浪区からの招聘を受け、訪問団を編成し中浪区を訪問しました。

滞在中、中浪区では議会開催中であつたにもかかわらず、各施設の担当者も大変親切に対応いただき、目黒区と同様に待機児童対策や高齢者対策などの課題に対して取組を進めている中浪区の状況も確認することができたところです。

次年度の三区間スポーツ交流事業については、東城区も同様に目黒区での開催を希望する意向を確認していることから、今後、教育委員会も含めた三区で協議を進め、議会のご理解ご協力をいただきながら実施いたします。

また、中浪区とは平成25年10月に覚書を交わしていますが、羅 鎮求（ナ・ジング）中浪区庁長から友好交流の推進に関する将来に向けた前向きな考え方も確認したことから、両区の議会と協議しながら進めていきます。

最後に、今回の訪問に当たっては、中浪区庁長をはじめ職員の方々には、訪問施設との調整や懇談の開催など、多大なる労力と時間を費やしていただいたことに、心から敬意を表します。

